

しまねの国保

S H I M A N E N O K O K U H O

9

2023.SEP
NO.576



鳥上地区福頼集落の棚田景観（奥出雲町）

VISION
— 視線の先に —

つながりで築く 幸せと笑顔あふれるまち 奥出雲町

奥出雲町長 糸原 保



島根県国民健康保険団体連合会

VISION

1

つながりで築く
幸せと笑顔あふれるまち
奥出雲町

奥出雲町長 糸原 保

報告

6

令和5年度第1回通常総会

保険者コーナー

12

国保ストーリー

邑南町 町民課 調整監 片桐 政彦

ガンバッテマス

美郷町 健康福祉課 保健師 伊藤 菜摘

健康にだんだん

14

あなたもきっとできる！身体活動のコツ
お手軽！ヘルシー料理教室
ホッと一息ココロの和カフェ

島根県在宅保健師等の会

18

ホップステップジャンプ

連合会日誌

20

7月・8月

PHOTO



鳥上地区福頼集落の棚田景観 (奥出雲町)

奥出雲町は良質な鉄の産地であり、古代よりたたら製鉄で栄えました。鉄づくりの原料となる砂鉄を採取するため、山を切り崩して水流にさらし、比重を利用して鉄を選別する「鉄穴流し」が盛んに行われていました。

残された砂鉄鉱山は放置されることなく、広大な棚田として生まれ変わり、ブランド米「仁多米」の生産が行われています。家よりかなり高い位置に棚田があることから、地元では「空田」とも呼ばれています。

VISION

— 視線の先に — Vol.37



つながりで築く
幸せと笑顔あふれるまち

奥出雲町

スサノオノミコトが降臨した
出雲神話発祥の地 奥出雲

悠然とそびえる山やまに囲まれた
長閑な里は日本の原風景そのまま



おに したぶる
鬼の古農い

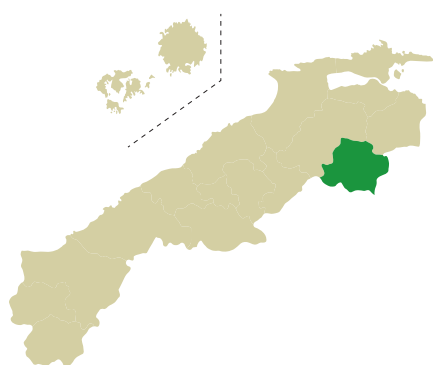
懐かしい姿を今に残しつつ
製鉄技術「たたら」によって築かれた
歴史・文化が古代ロマンを感じさせる

そんな奥出雲町を訪ね
糸原町長の視線の先にある

「VISION」について伺いました

奥出雲町長
いと はら
糸原

たもつ
保



奥出雲町

面積：368.01km²

人口：11,448人

国保被保険者数：2,292人

(令和5年8月1日時点)



町民との協働による 総力戦のまちづくり

国保連合会 竹中参事（以下、竹中）

本日はよろしくお願います。

町長就任から1年が経過するところですが、率直なご感想はいかがでしょう。

糸原 保奥出雲町長（以下、糸原町長）

本町は仁多米や蕎麦、たたらだけではなく、町民の人柄も含め、本当に良い資源に恵まれています。そんな中でも、やはり抱えている課題というのはかなりあると感じています。そのうちのひとつとして、出生率が非常に減ってきていることが挙げられます。地域を維持していくためには、次の世代へ引き継いでいかなければなりませんので、このあたりは喫緊の課題だと認識しています。もちろん、住みよいということも大事ですが、いかに子育て世代に住んでもらうか、といったところを急いでやっていかなければならないと思っています。

竹中 もともと資源が豊富なところですが、人口減少というのはやはり大きな問題ですね。

糸原町長 地域のさまざまな課題は根っこの部分で、人口減少とつながっています。こうした課題に対しては、もちろん町政としてもがんばらなければなりません。町民の皆さまとの協働による総力戦で向かっていく必要があると考えています。

竹中 総力戦でのまちづくりということですが、具体的な内容について伺えますか。

糸原町長 まちづくりについては「つながりで築く 幸せと笑顔あふれるまち 奥出雲町」を基本理念としています。まちづくりの施策も通常ですと7つ、8つと項目が多くなってしまうのですが、やり方を少し整理しまして、4つに絞っています。具体的には、

「①子育て・教育の充実と奥出雲を担う人づくり」、 「②活力ある産業の振興」、 「③安心して暮らせる生活基盤の確保とまちづくり」、 「④奥出雲の暮らしが幸せだと実感できる生活環境づくり」、 これら4つを柱としたまちづくりを目指しています。

①子育て・教育の充実と 奥出雲を担う人づくり

竹中 それでは、1つ目の柱について、ご説明いただけますか。

糸原町長 これは冒頭申し上げたとおり、喫緊のもので、1番目に掲げました。私は子育てと教育をしっかりとやっていくことが定住を促進するにあたって最も大事なことだと思っています。

子育てに関しては、保育料と、高校生までの医療費の無償化を行っています。また、今年度



奥出雲まちごと子育て応援金支給事業

からは子どもの誕生時と、小学校入学時に子育て応援金として、町内で使用できる商品券10万円分の贈呈を始めました。小さいまちなので、予算規模も莫大ではありません。小さいまちなからこそできる取り組みはまだあると思いますので、やれることはどんどんやっていく方針です。

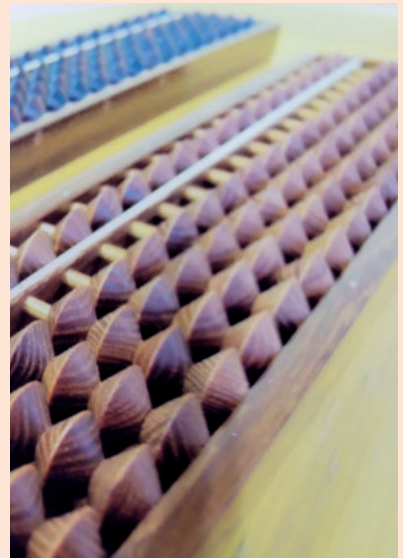
教育については、家庭の経済状況と関係なく、どんな子でも良い教育を受けられる、というのも大事だと思っています。

竹中 奥出雲の教育と言えば、高尾小学校でやっている落語を取り入れた活動はとてもユニークで、全国でも注目されていますね。

糸原町長 「にこにこ寄席」、私も何回も見に行っていますが、やはりあれはすごいです。もうオチは分かっているけど、何か可愛らしくて笑いを誘う。地域の方も元気をもらっています。これは10年前から始まったのですが、子どもが少なく、人との関わりが弱い中でも、落語を通してコミュニケーション能力が発達する。演目を読み込んで、覚えて、話してというところで国語力もつきますので、学力向上にも良いです。こういった教育は残していくべきではないかなと思っています。

竹中 その他にも、雲州そろばんの産地ということもあり、そろばん教育も盛んですね。

糸原町長 やはり幼児教育や初等教育、要するに前頭葉の発達が大いときこいういった教育



雲州そろばん

をするというのは将来、良い影響があるのではないかと思えます。現在、小学校の再編を行っているところですが、この機会に奥出雲ならではの良い部分を取り込みつつ、教育の質を高めていきたいと考えています。

② 活力ある産業の振興

竹中 2つ目の柱、産業振興に関する考えをお聞かせください。

糸原町長 産業については、人口が極端に減ってくると、規模が縮小され、生業が立ち行かないことになってしまいます。例えば地域通貨の導入も一つの手段ですが、経済を活性化させていく必要があります。第三セクターについても、交通など、行政サービスとして必要なものもありますが、今までがこうだったからではなく、将来のために思い切っって見直しを図りたいと考えています。

また、本町は製造業を中心に誘致企業が8社ほどあります。大きな事業所も含め、働き場としてはかなりありますが、逆に人が足りないということ、私も誘致企業をまわって話をしながら対策を検討しているところです。

③ 安心して暮らせる生活基盤の確保とまちづくり

竹中 今はどの業界も人手不足の状況にあるので大変かと思えます。これは3つ目の柱にも関連するのではないのでしょうか。

糸原町長 生活基盤、インフラは社会資本ですので、きちんと整備していかなければなりません。さまざまな分野で人材の確保というのは大変厳しい状況となっています。そのため、介護人材の確保対策を例に挙げると、本町で介護職についていただいた方には、3年間で30万円を助成するという事業を行っています。

また、奥出雲の場合、冬場になると毎朝道路などの雪かきが必要となります。建設会社の方の力も借りながらやっていますが、これはもうインフラのためというか、生活のため、町内経済を動かすためというものになります。

竹中 インフラに関して言えば、JR木次線の活性化という課題もあります。このあたりについてはいかがでしょうか。

糸原町長

木次線は単なる移動手段としてはなく、観光や地域振興の面においても期待できます。長年、皆さまに親しまれたトロッコ列車「奥出雲おろち号」は残念ながらこの11月で廃止となりますが、来年から月2回、出雲横田駅まで観光列車「あめつち」が入る予定です。鉄道ファンもたくさんいらつしやいますので、利活用の促進につなげられればと思います。

東京で木次線のジオラマ展をやってください方がいらつしやるのですが、こうやって周りの方がいろいろなイベントを通して「これは貴重だ」と発信してくれるのは大変力になります。何とか活性化させていかなければなりません。

**④奥出雲の暮らしが幸せだと
実感できる生活環境づくり**

竹中 それでは最後の4つ目の柱、生活環境づくりに関してお聞かせください。

糸原町長 暮らしに幸せを実感できる生活環境づくりについては、皆さんがいつまでも健康でいられることが大事だと思いますので、地域包括ケアの部分が基盤になるかと思えます。本町には町立奥出雲病院がありますが、町全体をカバーする役割がありますので、地域の診療所とのバランスも考慮しながら、相互に連携を取ること、きめ細かな医療提供体制を



ホッケーは今や島根のお家芸



国際大会6年連続金賞受賞の「仁多米」



日本刀の原料「玉鋼」

構築していくこととしています。奥出雲病院が中心となつて、地域全体を支えていくことで、住民の皆さんももっと安心感が得られ、幸せの実感に近づくのではないかと思います。

また、本町は小さなまちですが、島根リハビリテーション学院、島根デザイン専門学校と、2つも専門学校があるのが特徴です。先生も生徒も、地域で活躍したい、地域のためになりたいという希望を持っておられますので、一層の活性化が期待できます。

全国トップレベルの

奥出雲ブランド

竹中 町長もおつしやられました、奥出雲は魅力的なものが非常に多く、ホッケーや仁多米などは全国的にも有名ですね。

糸原町長 横田高校のホッケー部はオリンピック選手も輩出していますし、昨年度は男子がインターハイ、国体、全国高校選抜の3冠を達成しました。くにびき国体から40年経っています、競技スポーツでここまで強豪として残っているのは県内でもそうないと思いますので、大事にしていかなければならないところ

です。
仁多米については昨年開催された第24回米・食味分析鑑定コンクール国際大会で6年連続、12回目の金賞に輝きました。

いずれも大変誇らしいことなのですが、横田高校や仁多米が奥出雲町と結びついていない方も結構おられるのかなと。高いブランド力をもっており、これを今後、どう生かしていくかも課題ではあります。

最近、たたらもいろいろと注目されて

います。刀剣に興味をもった若い世代や外国人が増えているようです。日本刀の材料となる「玉鋼」を作る技術が奥出雲にしか残っていないというのは大きな強みですので、たたらや刀剣といったところも強く打ち出していこうかと思っています。

健やかで・こころ豊かに・

健康長寿

竹中 それでは、健康に暮らせるまちづくりへのビジョンや力を入れている取り組みについてはいかがでしょうか。

糸原町長 本町では今年度、町の健康増進計画に母子保健計画、食育推進計画を含めた一体的な計画として「奥出雲町げんきプラン21第3期

計画」を策定し、健康づくり活動を推進しています。計画の基本理念である「健やかで・こころ豊かに・健康長寿 奥出雲」のもと、町民を中心として地域と関係機関、行政が互いに連携し、健康づくりを進めることを目指しています。

地域の皆さんも一緒になってやっていく、ということ、各自治会に健康づくり推進員を委嘱して、健康教室や啓発活動が持続可能となるよう取り組んでいます。

また、町の健康課題として、虚血性心疾患による死亡率が高めなことに加え、脳血管疾患の発症率も増加傾向にありますので、特定健診受診率、特定保健指導実施率の向上も重要です。そこで、本町では、①保険証と受診券の一体化、②国保連合会の共同事業の活用による受診勧奨通知の送付、



「けんこう楽習塾」

③受診者へ商品券を送付するインセンティブの提供等を行うことで、少しずつですが受診率を上昇させています。特定保健指導については、町の保健師や管理栄養士だけでなく、一部を島根県栄養士会に委託し、体制を拡充することで実施率向上を目指しています。健診結果から個々の生活習慣の改善へとつながるよう、今年度からは、

健康運動指導士による運動に関する個別指導も行っています。

今後は事業所等とも連携し、働き盛り世代への支援を充実させていくことと、ライフステージや、個人の健康意識に合わせた健康づくりへの取り組みを支援していきたいと考えています。

自分時間でストレス発散

竹中 ありがとうございます。最後になりますが、町長の健康法についてお聞かせください。

糸原町長 ストレスを溜めないよう、1週間にせめて半日は自分の時間を確保したいなと思っています。好きな映画を見たり、本を読んだり、ちよつと散歩してみたり、といった感じでストレスを発散しています。実際のところ、



時間をとるのはなかなか難しいのですが、町を目指すべき姿の実現に向けて、自分自身のコンディションを整えながら取り組んでいきたいです。

令和4年度事業報告、決算等について 原案のとおり可決承認

令和5年度第1回通常総会



本会 山本理事長

令和5年度第1回通常総会を7月31日に本会で開催した。
令和4年度事業報告、各会計歳入歳出決算等、上程した議案は
すべて原案のとおり可決承認された。

冒頭、山本理事長が主催者あいさつ。6月に閣議決定された「骨太の方針2023」に触れ、医療・介護分野のデジタル化により、オンライン資格確認等システムを活用した医療情報の連携が一層加速するとした。一方、健康保険法等の一部改正により、国保連合会の基本理念に医療費適正化が明記されたことを説明。これまで以上に積極的な保険者支援に努めていくと結んだ。

続いて、県健康福祉部の勝部次長があいさつ。健康長寿日本一



島根県健康福祉部 勝部次長

を目指し、島根大学と連携した予防健康づくりの普及啓発や医療費データの分析・活用などの取組を紹介した。加えて、次期島根県国民健康保険運営方針の策定に際し、保険者の意見を十分に踏まえることを強調した。

引き続き、山本理事長を議長に選出し、議事を進行。星野事務局長から国保連合会を取り巻く最近の情勢について説明を行った後、事務局から各議案について説明した。

1. 令和4年度事業報告

(議案第1号)

保険者支援について、保険者努力支援制度を念頭に事業を実施した。国保データベース(KDB)システムや健康医療情報等分析システム(Focusシステム)の利活用支援や、市町村事務処理標準システムのクラウド環境での導入支援、クラウドシステムの安定的な運用に努めた。また、ポリファーマシーの是正および薬剤費の適正化を図るため、重複・多剤投与者に対する服薬情報通知業務を開始した。

審査支払業務の充実強化としては、「審査支払機能に関する改革工程表」に基づき、審査基準の統一に向けた取組に的確に対応した。国が実施する介護職員処遇改善支援事業および福祉・介護職員処遇改善支援事業に関連する事務を鳥根県から受託し、事業所に対する補助金および交付金の支払を行った。

また、国・地方自治体など多方面からのニーズに積極的に応えるため、事業目標の共有化、透明で健全な事業運営の確保等を目的として、第8次中期経営計画を策定した。

2. 令和4年度各会計歳入歳出

決算認定(議案第2号)

歳入決算額が2697億円強、歳出決算額が2694億円強となり、翌年度繰越金が2億7000万円強で歳入決算の0.1%に相当する。歳入歳出決算額の約99%は、診療報酬等のトンネル経費である。繰越金を除いた単年度実質収支は330万円強の単年度黒字となった。

一般会計では、新型コロナウイルス感染症にかかる緊急包括支援事業および感染防止対策支援事業に関する業務が令和3年度で終了したことにより、事業規模が対前年度比1億円強の減。国保業務勘定では、国保総合システム更改に向けた準備(開発負担金、減価償却引当資産の取崩)等により、対前年度比1億3千万円強の増。後期業務勘定では、国保業務勘定と同様の理由により、対前年度比4200万円強の増。介護業務勘定では、保険者事務処理システム共同開発が無かったこと等により、対前年度比4000万円強の減となった。

単年度実質収支は黒字となったが、実費弁償方式による判定結果に

おいては剰余が発生しなかったため、次年度手数料での精算はない。

3. 令和5年度各会計歳入歳出

予算補正

(議案第3号(第6号))

- (1) 国保業務勘定(第1回補正)
- (2) 公費負担医療等診療報酬支払勘定(第1回補正)
- (3) 抗体検査等費用支払勘定(第1回補正)
- (4) 後期高齢者公費負担医療等診療報酬支払勘定(第1回補正)

4. 役員改選(議案第7号)
 本会役員の任期が8月16日をもって満了となるため、関係団体から推薦された次期役員候補者および理事会で承認された役員体制案を提示、原案のとおり承認された。
 また、理事長に山本浩章氏(益田市市長)、副理事長に岩本一巳氏(吉賀町長)、常務理事に松本新吾氏(学識経験者)、代表監事には飯塚俊之氏(出雲市長)が選任された。

鳥根県国民健康保険団体連合会役員

(令和5年7月31日改選)

役職名	公職名	氏名
理事長	益田市市長	山本浩章
副理事長	吉賀町長	岩本一巳
常務理事	学識経験者	松本新吾
理事	江津市長	中村中
理事	雲南市長	石飛厚志
理事	西ノ島町長	坂栄一秀
理事	鳥根県医師国民健康 保険組合理事長	森本紀彦
代表監事	出雲市長	飯塚俊之
監事	奥出雲町長	糸原保

任期：令和5年8月17日から令和7年8月16日まで

令和4年度 島根県国民健康保険 団体連合会事業報告

I 総括

○国保の被保険者数は、令和4年度から団塊の世代が後期高齢者医療制度に移行し始めたことにより減少し、本県においては、後期高齢者医療の被保険者数を下回る状況となった。

○診療報酬等の支払額についても、国保は対前年度比で減少する一方、後期高齢者医療は増加しており、全体としては微増となった。

○事業運営にあたっては、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響もあつたが、Web会議等を有効に活用するなど、計画した事業の実施に努めた。

○新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬等審査支払やワクチン接種費用の支払等の関連業務についても、関係機関等からの要請に基づき的確に対応した。

○令和6年度に更改予定の国保

総合システムに対する国の財政支援については、地方6団体をはじめ関係機関等と一体となつて要請活動を行い、令和5年度の開発費用について、令和4年度第2次補正予算で57億円が措置されることとなった。

○令和3年度から令和4年度までを対象とした第7次中期経営計画の検証・評価を行い、令和5年度から令和7年度までを対象とした第8次中期経営計画を策定した。

○また、本会が行う保険者支援事業等の円滑な運営および効果的な推進を図るため、新たに国保連合会事業推進会議を設置し、保険者等との更なる連携強化に努めた。

則つた事業展開を図ることができた。

○歳出で大きな割合を占めている電算システム関連経費等のコスト削減に努めるとともに、計画的な積み立てを行うことで必要財源の確保に努めた。

○人材育成と組織力強化の観点から、島根県、市町村、国保中央会への派遣等を継続して行うとともに、外部研修への参加、個人情報保護など各種研修を独自に実施する一方で、労働衛生、職場環境にも留意した。

2 保険者支援等の推進

○保険者努力支援制度を念頭に置き、保健事業や保険者事務共同電算処理事業等を推進することにより、保険者におけるインセンティブ制度の活用、医療費適正化に向けた取組を支援した。

○保健事業については、医療・健診・介護情報のデータ分析に基づく地域に根差した取組を推進するため、保険者において国保データベース(KD

B)システムや健康医療情報等分析システム(Focusシステム)等が有効に活用されるよう支援した。

○国保・後期高齢者ヘルスサポート事業として設置した保健事業支援・評価委員会において、保険者が行うデータヘルス計画の策定、PDCAサイクルに沿った効果的・効率的な事業の実施、取組の評価等に対する個別支援を行った。

○保険者事務共同電算処理事業については、ポリファーマシーの是正および薬剤費の適正化を図るため、重複・多剤投与者に対する服薬情報通知業務を開始した。

○市町村事務の標準化等を推進するため国が開発した市町村事務処理標準システムについて、事業運営主体として、クラウド環境での導入支援、クラウドシステムの安定的な運用に努めた。

○第三者行為損害賠償求償事務共同処理事業については、保険者相談、研修会の開催、医療機関等への事故はがきの配付

II 重点事業に対する取り組み

1 第7次中期経営計画に基づく事業の推進

○計画の基本理念に基づき、新型コロナウイルス感染症などの対応をはじめ、多方面からの業務支援要請にも積極的に応えながら、計画に

等により、事案の発見などに努めたほか、求償専門員の設置、弁護士相談、相手方直接請求事務の実施などにより保険者事務を支援した。

3 審査支払業務の充実強化

○「審査支払機能に関する改革工程表」に基づき、審査基準の統一化を推進するとともに、国保総合システムのコンピュータチェック項目の全国統一に向けた取組にも的確に対応した。

○コンピュータチェックの活用に加えて、審査委員会との連携強化、事務共助研修の実施、高点数レセプト事務共助の強化を図り、審査支払業務の適正な実施に努めた。

○各市町村における乳幼児医療費助成事業の拡充に対応したほか、妊婦・乳幼児健診および新生児聴覚検査の審査支払について、県外医療機関実施分も対象とするなど、市町村事務の負担軽減を図った。

○令和4年10月からの後期高齢者の窓口負担見直しにあたっては、所要のシステム改修を行うなどの確に対応した。

4 介護保険業務等の推進

○介護給付費等の適正な審査支払に努めたほか、保険者に共通する事務を一元的に処理することにより、保険者事務の効率化や負担軽減を図った。

○医療と介護給付情報の突合・縦覧点検および第三者求償突合リストの作成を行うほか、事業所等に関する分析情報を提供することで、保険者が行う介護給付適正化事業の円滑な実施を支援した。

○障害介護給付費および障害児給付費の適正な審査支払に努めたほか、説明会等を通じて、島根県および市町村と連携を強化し、更なる給付の適正化を図った。

○国が実施する介護職員処遇改善支援事業および福祉・介護職員処遇改善支援事業に関連する事務を島根県から受託し、事業所に対して補助金および交付金の支払を行った。

5 個人情報保護に対する取り組み

○プライバシーマーク付事業者として、個人情報保護マネジ

メントシステムを構築・運用し、定期的な見直しおよび継続的な改善に取り組んだ。

○令和4年8月には、継続した取り組みが認められ、6回目の更新認定を受けた。

6 財務諸表を活用したコスト分析

○公益法人会計に準拠した財務諸表を公開して経営成績を明確にするとともに、公認会計士による外部監査を実施することで運営の透明化を図った。

7 第8次中期経営計画の策定

○顧問税理士への相談や財務諸表等を活用したコスト分析を行い、健全な財政運営に努めた。

○国の社会保障制度改革やそれに伴い打ち出される施策の動向を注視しつつ、国・地方自治体など多方面からのニーズに積極的に対応するため、事業目標の共有化、透明で健全な事業運営の確保、良質なサービス提供を目的として令和5年2月に策定した。

公 告

島国保連公示第1号

令和4年度島根県国民健康保険団体連合会事業報告、決算及び財産目録を次のとおり公示する。

令和5年7月31日

島根県国民健康保険団体連合会
理事長 山本 浩章

- 1 事業報告
- 2 決算（別表1）
- 3 財産目録（別表2）

〈別表1〉 令和4年度 島根県国民健康保険団体連合会各会計歳入歳出決算

(単位:円)

会計名	歳入		歳出		歳入歳出 差引残額	処 分
	予算現額	収入済額	予算現額	支出済額		
1 一般会計	1,533,443,000	1,311,726,847	1,533,443,000	1,310,285,581	1,441,266	令和5年度へ繰越 1,441,266
2 診療報酬審査支払特別会計						
業務勘定	1,152,092,000	1,114,471,878	1,152,092,000	1,086,133,097	28,338,781	令和5年度へ繰越 28,338,781
国民健康保険診療報酬支払勘定	52,593,564,000	50,669,807,171	52,593,564,000	50,510,226,324	159,580,847	令和5年度へ繰越 159,580,847
公費負担医療等に関する診療報酬支払勘定	5,309,334,000	4,991,137,639	5,309,334,000	4,990,122,836	1,014,803	令和5年度へ繰越 1,014,803
出産育児一時金等に関する支払勘定	150,005,000	132,304,438	150,005,000	132,304,438	0	令和5年度へ繰越 0
健康保険診療報酬支払勘定	7,000	0	7,000	0	0	令和5年度へ繰越 0
抗体検査等費用に関する支払勘定	1,921,806,000	1,522,902,038	1,921,806,000	1,522,902,038	0	令和5年度へ繰越 0
3 後期高齢者医療事業関係業務特別会計						
業務勘定	466,231,000	454,863,427	466,231,000	448,257,899	6,605,528	令和5年度へ繰越 6,605,528
後期高齢者医療診療報酬支払勘定	118,800,025,000	107,341,088,950	118,800,025,000	107,341,088,950	0	令和5年度へ繰越 0
公費負担医療等に関する診療報酬支払勘定	1,273,582,000	1,112,192,334	1,273,582,000	1,112,192,334	0	令和5年度へ繰越 0
4 介護保険事業関係業務特別会計						
業務勘定	450,281,000	413,502,995	450,281,000	372,550,809	40,952,186	令和5年度へ繰越 40,952,186
介護給付費等支払勘定	88,560,021,000	78,148,184,556	88,560,021,000	78,148,184,556	0	令和5年度へ繰越 0
公費負担医療等に関する報酬等支払勘定	396,494,000	321,525,875	396,494,000	321,525,875	0	令和5年度へ繰越 0
5 障害者総合支援法関係業務等特別会計						
業務勘定	75,070,000	78,061,726	75,070,000	56,962,657	21,099,069	令和5年度へ繰越 21,099,069
障害介護給付費支払勘定	19,320,037,000	18,368,323,695	19,320,037,000	18,368,323,695	0	令和5年度へ繰越 0
障害児給付費支払勘定	3,216,008,000	2,854,100,437	3,216,008,000	2,854,100,437	0	令和5年度へ繰越 0
6 特定健診・特定保健指導等事業特別会計						
業務勘定	68,911,000	69,399,438	68,911,000	53,292,879	16,106,559	令和5年度へ繰越 16,106,559
特定健診・特定保健指導等費用支払勘定	462,004,000	418,307,533	462,004,000	418,307,533	0	令和5年度へ繰越 0
後期高齢者健診等費用支払勘定	294,004,000	276,057,410	294,004,000	276,057,410	0	令和5年度へ繰越 0
7 第三者行為損害賠償求償金特別会計	240,005,000	124,353,672	240,005,000	124,353,672	0	令和5年度へ繰越 0
8 役員等退職手当特別会計	36,666,000	36,683,912	36,666,000	36,515,397	168,515	退職給付引当資産へ 168,515
9 融資特別会計	203,006,000	0	203,006,000	0	0	令和5年度へ繰越 0
計	296,522,596,000	269,758,995,971	296,522,596,000	269,483,688,417	275,307,554	

〈別表2〉 財産目録

令和5年3月末現在

種 別	現 在 高	摘 要
1. 土地・宅地	1,558.35㎡	松江市学園一丁目7番14号（登記267番1）
	2,000.00㎡	松江市学園一丁目7番14号（登記267番2）
2. 建 物	2,058.03㎡	（本館）鉄筋コンクリート、鉄骨造 ステンレス鋼板葺3階建
	983.37㎡	（別館）鉄筋コンクリート、鉄骨造 ステンレス鋼板葺3階建
3. 備 品	1,264品	公用車、事務用機器等1,264品
4. 積立金・基金	2,339,772,015円	
(1) 財政調整基金積立資産	84,900,000円	
・ 診療報酬審査支払特別会計	34,600,000円	山陰合同銀行普通預金 24,900,000円 山陰合同銀行定期預金 60,000,000円
・ 後期高齢者医療事業関係業務特別会計	30,300,000円	
・ 介護保険事業関係業務特別会計	12,300,000円	
・ 障害者総合支援法関係業務等特別会計	3,900,000円	
・ 特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計	3,800,000円	
(2) 退職給付引当資産	304,038,499円	山陰合同銀行普通預金 3,847,932円 山陰合同銀行定期預金 250,000,000円 みずほ銀行普通預金 190,567円 中国電力株式会社社債 50,000,000円
・ 一般会計	304,038,499円	
(3) 減価償却引当資産	1,032,095,705円	
・ 一般会計	501,420,437円	山陰合同銀行普通預金 132,095,705円 山陰合同銀行定期預金 700,000,000円 日本政策投資銀行社債 200,000,000円
・ 診療報酬審査支払特別会計	373,192,016円	
・ 後期高齢者医療事業関係業務特別会計	113,796,259円	
・ 介護保険事業関係業務特別会計	22,811,667円	
・ 障害者総合支援法関係業務等特別会計	1,315,781円	
・ 特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計	19,559,545円	
(4) 電算処理システム導入作業経費積立資産	69,794,214円	
・ 診療報酬審査支払特別会計	38,612,419円	山陰合同銀行普通預金 19,794,214円 山陰合同銀行定期預金 50,000,000円
・ 後期高齢者医療事業関係業務特別会計	19,424,400円	
・ 介護保険事業関係業務特別会計	4,897,215円	
・ 障害者総合支援法関係業務等特別会計	1,522,836円	
・ 特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計	5,337,344円	
(5) 運営資金積立金	641,143,597円	山陰合同銀行普通預金 41,143,597円 山陰合同銀行定期預金 550,000,000円 中国電力株式会社社債 50,000,000円
・ 一般会計	641,143,597円	
(6) ICT積立資産	207,800,000円	
・ 診療報酬審査支払特別会計	103,800,000円	山陰合同銀行普通預金 87,800,000円 山陰合同銀行定期預金 120,000,000円
・ 後期高齢者医療事業関係業務特別会計	44,000,000円	
・ 介護保険事業関係業務特別会計	36,900,000円	
・ 障害者総合支援法関係業務等特別会計	11,700,000円	
・ 特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計	11,400,000円	
5. 預 金	270,764,107円	
(1) 預 金（歳計現金）	268,515,217円	山陰合同銀行普通預金 261,371,029円 みずほ銀行普通預金 6,370,827円 ゆうちょ銀行普通預金 773,361円
(2) 預り金（歳入歳出外現金）	2,248,890円	山陰合同銀行普通預金
6. 借 入 金	0円	

受診率向上の手法・保険者努力支援制度の対策をご提案いたします

キャンサースキャンでできること

国保連合会と共同で、未受診者対策を行っています

POINT 1 対象者選定



誰に何を送るべきかを
人工知能で解析する

※特許取得（特許第6548243号）

POINT 2 送り分け



特性に合わせた受診勧奨資料

（マーケティング技術を
駆使したメッセージ）

POINT 3 効果検証



効果検証して
次につなげる



株式会社キャンサースキャン info@cancerscan.jp
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-3-8五反田PLACE 2F

▼お気軽にご相談ください

☎03-6420-3390

国保 ストリート

K O K U H O
S T R E E T



自慢の愛車です！



邑南町 町民課
調整監

かたぎり まさひこ
片桐 政彦

人生を精一杯楽しむ

私は、令和4年4月から町民課で国保業務を担当しており、課内、支所のみなさんに支えていただきながら勤務しています。

さて、ここで私の趣味や休日の過ごし方の中から数点紹介したいと思います。

まず、①バイクです。19歳の時に普通自動車免許を取ったものの、約30年間車だけ乗っていましたが、昨年からは無性にバイクに乗りたくなり、今年1月、練習を兼ねて大型二輪免許を取り、中古車探しや試乗をし、購入に至りました。ただ乗るだけではつまらないので、車でも好きなチューニングを自分でしています。バイク通勤もしていますが、こんなに楽しい乗り物はないと感じ、もう車には乗りたくないぐらいです。これから自分でメンテナンスをして、ツーリングにもどんどん行きたいです。

続いて②日本酒です。昨年からは町内外のお酒を飲み始めました。日本酒を飲み始めると他のアルコールを飲むことは減りました。邑南町には3つの酒蔵があり、いずれも素晴らしいお酒を造っておられます。地元のお酒を飲み比べして堪能できることの喜びを噛みしめています。

次に、③家庭菜園です。数年前から妻と夏野菜、玉ねぎ、大根、白菜、白ネギなど、暑さ、寒さ、草刈り、カラス、虫、病気に苦戦しながら栽培しています。今年は妻のスイカがうまくでき、2人で喜んでいただきました。

さらに、④薪ストーブです。13年前に導入しましたが、当時「薪ストーブ」というものを知らず、妻の希望で導入しました。薪の調達には苦労しますが、軽い軽トラックやチェーンソーなどが揃って

おり、冬から春にかけて原木伐採、玉切りをしては斧で薪割りし、1〜2年乾燥させています。薪ストーブはエアコンなどとは比較にならない暖かさで、真冬でも半袖で過ごすことができます。冬は極寒になる邑南町では強い味方です。

③、④は趣味を通り越して、生活の一部の営みとなっています。

最後に⑤です。映画館、ライブ、舞台公演に行くことが好きで、映画は昨年20本、今年は8月現在で16本観に行きました。ジャンルはスパイもの、アクション、ミステリー、ファンタジーが好きです。ライブ、舞台公演は年に数回行き、劇団四季、宝塚など家族でよく観に行きました。

という風に、夫婦共に年中外で何かをしているので、強靱な体力・精神力が必要となり、健康維持のため、食事管理、トレーニングは欠かせません。私より妻の方がタフなぐらいです。

私のモットーは「人生は一回」です。ある方が、「健康であればゆとりが生まれる」と言っていました。限られた時間を楽しく有意義に過ごすために心身ともに健康でありたいです。



フォークリフトの資格も取りました！



冬場の強い味方 薪ストーブ

ガンパッテマス



「お茶でも飲んで話そう会」の様子



美郷町 健康福祉課
保健師

伊藤 菜摘

地域に溶け込み 身近で頼れる保健師に…

私は美郷町の保健師として採用され、4年目となりました。私が県外出身のため、入職時は地理や言葉など戸惑うこともありましたが、自分が「保健師」であることを伝えると、住民さんから話しかけてくださり、そんな住民さんの温かさがとても嬉しかったのを覚えています。きつとそれは、今まで先輩保健師が築き上げてこられた住民さんとの繋がりがあるからこそのものだと感じ、私も地域に溶け込み、身近で頼れる保健師になりたいと思っています。

私が担当する吾郷地区では、毎月1回、住民さんが公民館に集まって話をしたり、レクリエーションを楽しんだりする「お茶でも飲んで話そう会」が開催されています。私もそこに参加し、健康相談を受けたり、住民さんに介護予防のお話や脳トレ体操と一緒にを行っています。先日、そのサロンに参加されている住民さんから、「自分が亡くなった後の息子のことが心配だ」と相談を受けました。その住民さんは95歳とかなり高齢な母親で、67歳の息子さんと二人暮らし。母親は身体が悪く、老々介護のご家庭です。さらに息子さんには身体障害があり、物事の理解や意思決定についても支援が必要な状況です。そこで、息子さんの通所先の施設の相談員や母親のケアマネジャー、町の障害支援担当者とも情報を共有し、支援を始めました。はじめは漠然とした不安を抱え「施設に入るしかない」と思っていた親子ですが、さまざまな制度やサービスについて情報提供し、一緒に考える中でいろいろな選択肢ができて安心された様子がかがえました。特に息子さんには、できるだけ分かりやすく丁寧に

何度も説明を行ったところ、息子さんから「住み慣れた家で生活を続けていきたい。そのために料理にも挑戦してみたい。」という本音を聞くことができました。現在ではその希望を実現できるようヘルパーの利用を検討しており、少しずつ自立に向けての準備を進めているところです。

今後の見通しが立ったことで親子の不安を少しでも解消し、本人の思いを尊重した支援ができて良かったと感じます。また、その親子や私たち支援者が共通認識をもって支援できる体制を作れたので、より一層、本人のニーズに沿った支援を提供していければと思います。

地域の住民さんと関わる中で、抱えている悩みや問題は人それぞれで複雑な場合も多いと感じています。そういった方々の支援をする中で、対象者目線で気持ちをしつかりと傾聴し、多職種と一緒にいろいろな視点から支援を一緒に考え、住民さんが住み慣れた地域で元気に暮らしていけるよう支援していくことの必要性を強く感じます。まだまだ力不足でもどかしさを感じる場面はたくさんありますが、様々な経験から学んだことを糧に保健師としてどんどん成長していきたいです。そしてこれからもできるだけ地域に届けていき、住民さんの気持ちや暮らしに寄り添いながら、美郷町で健康で元気に暮らしていける保健活動を行っていききたいと思っています。



気持ちや暮らしに寄り添う活動を心掛けています！

みなさんこんにちは。雲南市の北湯口です。

過去9年分の9月号の書き出しを振り返ったところ、昨今は異常気象に関する記述が多く、ここ数年は「猛暑」「豪雨災害」が頻出でした。今夏も全国各地で猛暑と豪雨に見舞われ、災害級の気象が平年化しつつあることに心配が募ります。また、多くの活動が再開される一方、アウトドア活動中の大変痛ましい事故が続いたことに心を痛めた方も多かったと思います。この9月は防災月間です。防災の基本は減災（被害の最小化）であり、自助・共助・公助（自分の身を守る・地域で助け合う・公的に救助援助を受ける）の理解と組み合わせによる実践が大切と言われます。いづどこで起きるかわからない災害や事故から身を守るためにも、“減災体質”が自然に身につくような生活を日頃心掛けたいものです。

さて、今回は、コロナ禍での活動自粛によるつながりの変化や身体活動への影響について紹介していきます。

それではよろしく願いいたします！



コロナ禍の活動自粛とフレイル
人と会わず、外にも出ず、家でじつと過ごす。こんな毎日が続ければ、誰でも心身の機能が衰え、健康を害してしまいます。コロナ禍の3年間は、生活上のさまざまな活動「自粛」の影響で、多くの人がその危険にさらされました。特に高齢期において、人との交流や活動の機会が減ると、筋力や認知機能、意欲が低下してしまい、どんどんフレイル（虚弱状態）が進行して要介護状態に移行しやすくなります。フレイルは、健康と要介護の中間的な段階であり、しっかりと対策をとれば要介護への移行を遅らせること（予防）もできます。その対策の基本は家に閉じこもらず、人や社会との関わりを保ちながら、適度に「動く」「食べる」「話す」ことを心掛けて、心身機能の維持につながるような日常生活を送ることにあります。ただ、コロナ禍では「ステイホーム」「黙食」「ソーシャルディスタンス」といった3密

つながりと身体活動編

あなたもきつとできる！ 身体活動の コツ

第57回



身体教育医学研究所うなん
主査/管理研究員

きた ゆくち じゅん
北湯口 純

●プロフィール

平成18年4月に雲南市が設置した研究機関で、地域の健康づくり政策の形成に資する実践的学術研究の推進に取り組んでいる。今年度の主要研究テーマは、「スポーツによる地域共生社会の実現に向けた実践評価モデルの構築」。博士（環境共生学）、修士（武道・スポーツ学）、健康運動指導士、島根大学研究・学術情報機構地域包括ケア教育研究センター客員研究員、日本転倒予防学会理事、日本体力医学会評議員、日本運動疫学会編集委員、日本運動器疼痛学会代議員など。

●最近の著書（共著含む）

- 1) 武藤芳照ほか編（分担執筆）、転倒予防白書2023、日本医事新報社、2023
- 2) 日本転倒予防学会監修（分担執筆）、高年労働者のための転倒・転落事故防止マニュアル、新興医学出版社、2023

【参考文献】 1. izuka G, et al. Does social participation foster social support among the older population in Japan? A three-year follow-up study from the Japan gerontological evaluation study. SSM Popul Health. 2023 Jun; 22: 101410.
2. Yamada M, et al. The Influence of the COVID-19 Pandemic on Physical Activity and New Incidence of Frailty among Initially Non-Frail Older Adults in Japan: A Follow-Up Online Survey. J Nutr Health Aging. 2021;25(6):751-756.

を回避する自粛生活で、フレイル対策とはまったく逆行した不活発な生活様式が強いられました。

コロナフレイルに気を付けて

自粛生活が長期化すればフレイルの進行は加速します。このような状態は「コロナフレイル」と呼ばれ、問題視されました。例えば、コロナ禍の前と比べて表にある項目に一つでも該当するとコロナフレイルに陥っている恐れがあります。アフターコロナに転換したとは言え、まだ長期化したコロナ禍の影響下にありますので、コロナフレイルへの注意と対策はこれからも必要だと思えます。

コロナ禍の前と比べて、

- 意図せず、体重が2kg以上減った
(筋肉量減少)
- 何をするにも面倒で、疲れやすくなった
(全身的な体力低下)
- 外出や運動の機会が減り、人と交流しなくなった(身体活動量・社会的交流の低下)
- ペットボトルのふたが開けにくくなった
(握力低下)
- 食事中にむせやすくなった
(口腔機能低下)
- 青信号で横断歩道を渡り切れなくなった(歩行能力低下)
- 1週間誰とも話をしていない
(口腔機能・認知機能低下リスク)

改訂日本版フレイル基準

(J-CHS基準)を一部変更して作成

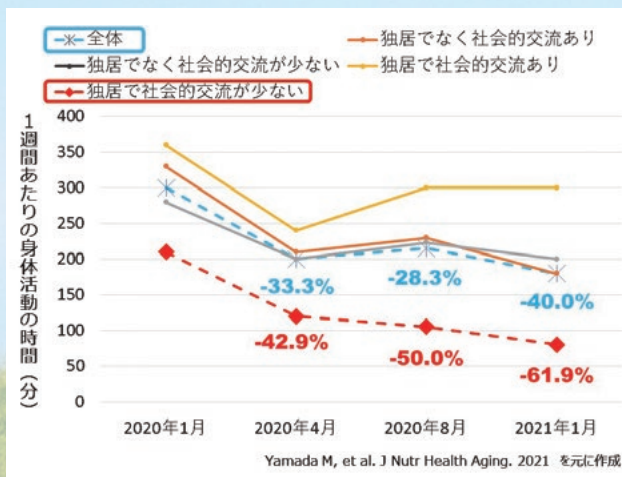
特に、外出や交流などの社会参加が減少したことで人や地域との関りが少なくなり、社会的な孤立が進行して、つながりを介したさまざまな恩恵(サポートやサービスなど)が受けにくく、健康リスクが高まっている高齢者が増えているかもしれません。コロナ禍で生じた社会的交流の低下をこれからの活動再開でどれだけ回復させられるかは大きな課題だと言えます。

近年の研究では、社会参加(社会的交流や趣味活動)を高齢者に促すと社会的サポートが実際に増加することが立証されています¹⁾。コロナ禍で失われた社会参加や社会サポートを復帰させるためにも、休止していた活動の再開や、新たな通いの場・居場所づくりなどにも力を入れたいところです。

つながりが少ない人は、身体活動が回復しにくい

新型コロナウイルスの5類移行をきっかけに、高齢者の外出や交流機会が増加しているのを実感しています。実際に、地域の高齢者サロンなどから弊所への出前講座の依頼も増えてきました。ただ、私たちが普段接している高齢者の多くは、コロナ禍でサロン等への参加が一時的に途絶えていた方々です。元々の外出や交流の機会が少ない高齢者が現在どのような社会的交流の状態にあるのかはよくわかっていません。その一つの目安として、コロナ禍での緊急事態宣言前後の高齢者の身体活動の状況を、元々の社会的交流の状態を踏まえて調査した研究を見えます(図)²⁾。この研究によると、社会的交流が元々少ない高齢者はそうでない方と比べて身体活動量が少ないことがわかり

図 コロナ禍で社会的交流が少ない高齢者は活動量がより低下



ます。さらに、独居で社会的交流が少ない高齢者は、元々の身体活動量が少ないだけでなく、高齢者全体(水色点線)の変化と比べ、その低下率が大きくなっていました。一方、独居でも社会的交流がある高齢者(黄色実線)は緊急事態宣言の後で身体活動の回復傾向が見取れます。このように、日常生活の中で人とのつながりが少ない高齢者は、元々の生活が不活発なうえ、コロナ禍のような日常を大きく変化させる事象(災害を含む)の影響を大きく受けやすい、身体活動をより低下させる生活状態に陥るようです。これらの結果は、高齢者の身体活動は社会的なつながりに十分配慮する必要があることを示唆すると同時に、社会的なつながりが元々少ない高齢者への対応がより重要であることも示唆しています。(続く)

お手軽

メタボ解消！健康への道

ヘルシー料理教室



アジの梅シロップ煮

毎年、たくさんの梅が採れ、梅干しを漬けたり梅シロップを作ったりしています。今年の梅シロップは美味しく出来上がっているでしょうか？

シロップに漬け込んだ梅がたくさんあったので、鯛の梅干煮をアレンジしてアジの煮付けを作ってみました。梅のクエン酸のおかげでさっぱりといただけます。

暑い夏向きのあっさり味に仕上げています。

【材料（2人分）】

アジの切り身……………2切れ
にんじん……………20g
梅シロップの梅……………2個

煮汁

生姜汁……………5ml
梅シロップ……………50ml
酒……………20ml
砂糖……………2g
(シロップの甘さにより、加減してください。)
しょうゆ……………5ml
水……………30ml

【作り方】

- ① 切り身は冷凍のものならそのまま、生または解凍品なら水洗いして水気をふき取る。
- ② にんじんは食べやすい大きさに切り、下茹でしておく。
- ③ 鍋に煮汁の材料を入れて火にかける。
- ④ フツフツと煮立ってきたら、①と②、梅シロップの梅を入れて中火で10分から15分煮る。(時々煮汁をかけて、照り良く仕上げる)



島根県栄養士会
はっとり しほ
服部 志保

【1人分】

エネルギー 173kcal
塩分 1.1g

〈一口メモ〉

・今回はアジの切り身でしたが、さば、自身魚、鶏肉などいろいろアレンジできます。みそ味もおいしいです。



ホッと一息 ココロの 和カフェ



いちばたやくし 一畑薬師管長 (いちばたじ 一畑寺住職)
いづか だいこう 飯塚 大幸

現代社会を特徴づけるものとして、“ストレス”があります。時間に追われ、ゆったりとした生活をする事ができないと、心のバランスも崩れてしまいます。職場におけるメンタルヘルスが重要視される中、ここでは、一畑薬師管長の飯塚大幸氏に“心の健康”についてお話いただきます。『ココロの和カフェ』でホッと一息つきませんか？

忍辱

修行道場で嫌いな先輩の僧侶がいました。彼も私が嫌いでした。私たちふたりは道場の台所担当で、半年間、同じ部屋で過ごしていました。彼はいつも私に小言や文句を言います。いくら私が一生懸命でも、彼はまったくほめてくれません。いつも私に意地悪をします。彼は自分のやりたくない仕事を命じます。この人は間違っているとは思いました。しかし、先輩でしたので、直接、文句を言うことはできずに、じつと耐えていました。

ある日、彼はあまりに理不尽に私を叱りました。私はあまりに腹が立っていたので、夜中にうなされて目が覚めました。私はとなりに寝ている先輩を見て、頭を叩いてやろうと思いついた。自分の拳骨を握りました。私はよほど叩こうかと思いましたが、もし私が彼を叩いたら、もう私はこの道場にいることは許されないうらうと思つて、やめました。その後も、ずっと我慢をしていました。

何年かたつて、その先輩は道場を出ていきました。さらに何年かたつて、私も道場を離れました。それから十年たつて、私は彼に会いました。私は彼の顔を見て、修行時代の人間関係の辛さを思い出しました。しかし、すべては過去のこと。過ぎてしまった日々です。私はやっぱり彼が好きではありませんが、なぜか彼にお礼を言いました。

私が今まで嫌なことを辛抱できたのは、あつたときあんなに辛い経験をさせてくれた、この人の

おかげだと思つたからです。この嫌いな人がいなければ、その後のもつと辛かった困難を乗り越えられなかったかもしれません。

また次のようにも考えました。私もこの先輩も修行のためにここにいる。お互い修行により追いつめられているに過ぎない。正しい道のためには道場にいるのであつて、悪い道のためには道場にはいない。それを忘れてはいけない。

「忍辱」という修行をしよう。六波羅蜜という六つの修行の徳目のひとつです。忍耐も大切な修行のひとつなのです。忍耐は嫌なものでもあり、忍耐をする必要はないと考える人も多いでしょう。

どうしても避けられないこともあります。「忍辱」という修行をしていると受け止めるのも、ひとつの方法です。

飯塚 大幸 / いづか だいこう
 いちばたやくし 一畑薬師管長 (いちばたじ 一畑寺住職)
 昭和35年 島根県出雲市(旧平田市) 生まれ
 昭和48年 13歳で京都・大珠院(盛永宗興師)へ弟子入り
 昭和58年 駒澤大学仏教学部 卒業
 昭和58年 埼玉・平林寺専門道場へ入門(6年間)
 平成元年 ロンドン仏教協会 禅センターへ留学(1年間)
 平成5年 一畑寺 住職(現職)
 平成14年 一畑薬師教団 管長(現職)

- ・社会福祉法人真心会 理事長
- ・山陰尺八道場 第三代 道場主
- ・島根半島四十二浦巡り再発見研究会 会長
- ・出雲縁結び街道振興協議会 会長

○趣味 尺八、自転車、ジョギング



データヘルスのことなら データホライゾンにおまかせください

独自のレセプト分析技術と精度の高い糖尿病腎症重症化予防サービスを活用し、データヘルスのPDCAサイクルをワンストップで提供することができます。

PLAN (分析に基づく保健事業の立案)

- ・レセプト・健診データの現状分析
- ・効果の高い保健事業の企画
- ・対象者の抽出
- ・成果目標の設定
- ・効果測定法の検討



Do (保健事業の実施計画)

- ・保健事業の実施
- ・指導 糖尿病性腎症重症化予防など
- ・通知 服薬情報通知、重複受診通知、受診行動適正化通知など
- ・随時事業のモニタリング



ACT (次のサイクルに向けて改善計画)

- ・データヘルス計画の各事業の目標と実績の乖離を元に改善点の検証
- ・改善を実施する方法の検証



Check (データ分析に基づく効果測定・評価の計画)

- ・効果測定法を基に効果測定
- ・各保健事業の目標との比較



株式会社データホライゾン
広島市西区草津新町一丁目21番35号

データホライゾン

検索

【お問合せ先 (西日本営業課)】

082-279-5553

特定健診・特定保健指導ご担当者様へ

ICTを活用した「マイナス2・2チャレンジ」 特別 無料オンラインセミナーのご案内

令和5年
9月26日(火)
14:30~17:00
参加無料

次期(第4期)特定健診・特定保健指導計画に向け、アウトカム評価の重視とICTの活用で効率的・効果的な保健指導の実施を検討されているご担当者を対象に、『「マイナス2・2チャレンジ」特別無料オンラインセミナー』をご案内いたします。

今回は二部構成とし、第二部では帝京大学大学院公衆衛生学研究科 教授 福田 吉治 氏にご登壇いただき、国保のデータヘルス計画策定・推進について、第2期の最終評価と第3期の計画策定を進めるにあたり、実践的なアドバイスをいただきます。

特別無料
オンラインセミナー
の概要

第一部

- ①『アウトカム評価・ICTの活用に準拠し、第4期に対応可能な「マイナス2・2チャレンジ」の有効性とコスト抑制効果について』
- ②『コールセンター等を活用した「電話勧奨」による特定保健指導の利用勧奨に』

第二部

「国保のデータヘルス計画策定・推進について(仮)」
講師 帝京大学大学院公衆衛生学研究科 教授 福田 吉治 氏



帝京大学大学院
福田 教授ご登壇!

開催日程 令和5年9月26日(火) (申込締切 9月19日(火))

時間 14:30~17:00

定員 100名(申込先着順) 参加方法 ZOOMウェビナー

主催 (株)社会保険出版社 / (株)インサイト

※「マイナス2・2チャレンジ」は(株)インサイトの登録商標です。



お申込み

上記二次元コードからWebにアクセスの上、お申し込みください。追って弊社からご連絡いたします。



株式会社 社会保険出版社

https://www.shaho-net.co.jp 社会保険出版社 検索


お問い合わせ 大阪支局 TEL 06(6245)0806

大阪市中央区博労町4-7-5 〒541-0059
本社 TEL.03(3291)9841 / 九州支局 TEL.092(413)7407



健康経営優良法人
2023
Health and productivity

日	行 事
2	島根県在宅保健師等の会「ぼたんの会」 第2回広報委員会 [本会]
3	中・四国地方国保連合会「若手職員連携プロジェクト」 キックオフ会議 [鳥取県鳥取市] 松江圏域働きざかりの健康づくり推進連絡会 [松江合同庁舎] 審査支払業務検討委員会ワーキンググループメンバー 育成研修 [Web会議] 審査担当者月例ミーティング [Web会議]
4	島根県在宅保健師等の会「ぼたんの会」 第2回正副会長会および第2回役員会 [本会]
5	中国地方国民健康保険診療報酬審査委員会 会長連絡協議会 [広島県広島市]
7	保険料（税）適正算定マニュアル操作説明 [益田市、津和野町] レセプト点検相談 [出雲市]
8	地域の医療と介護を考えるトップセミナー [Web会議] 国保料（税）収納アドバイザー相談事業 [益田市] 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業および Focusシステム操作説明に係る保険者訪問 [美郷町] レセプト点検相談 [安来市]
9	国保料（税）収納アドバイザー相談事業 [浜田市] レセプト点検相談 [雲南市]
17	島根県市町村国保広域化等連携会議 [本会]
18	Focusシステム操作説明に係る保険者訪問 [江津市] 島根県国民健康保険診療報酬審査委員会[本会](~24日) 島根県柔道整復療養費審査委員会 [本会]
22	島根県地域医療支援会議 [Web会議] 島根県医療審議会総会 [Web会議] Focusシステム操作説明に係る保険者訪問 [安来市]

日	行 事
23	中国地方常務理事・事務局長合同会議 [広島県広島市] 第5回介護保険保険者事務処理システム運営委員会 [Web] 介護給付費等審査委員会 [本会]
24	都道府県ブロック会議意見交換 [広島県広島市] 国保料（税）収納アドバイザー相談事業 [美郷町] 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業に係る保険者訪問 [出雲市]
25	国民健康保険料（税）収納率向上対策研修会 [Web]  保険者における収納対策の強化、収納率向上 に資することを目的に研修会を開催。本会収納 アドバイザーの米山利和氏から「徴収実務対策 のポイント」と題しての講演と、雲南市からの 事例発表のほか、市町村から提出された困難 事例についての意見交換等を行った。 米山アドバイザー
	国保・後期高齢者ヘルスサポート事業に係る保険者訪問 [島根県後期高齢者医療広域連合] 島根県市町村職員共済組合レセプト点検 [島根県市町村 職員共済組合] (25日、28日、29日、31日、9月1日)
28	審査支払業務検討委員会ワーキンググループ [東京都] (~30日) Focusシステム操作説明に係る保険者訪問 [知夫村]
29	Focusシステム操作説明に係る保険者訪問 [西ノ島町、海士町]
30	Focusシステム操作説明に係る保険者訪問 [隠岐の島町]
31	全国国民健康保険診療報酬審査委員会会長連絡協議会 [東京都] 介護保険・障害者総合支援合同担当者説明会 [Web会議]



マツケイはあなたのニーズとITを結ぶパートナーです。

mat sukei



データセンター事業、システム開発(オープンソース: Ruby等)
データエントリー、プリンティング、機器販売


株式会社 **マツケイ**

TEL : 0852-32-1616

E-mail : contact@matsukei.co.jp

〒690-0046 島根県松江市乃木福富町735番地211

日	行 事
3	第1回三役会 [Web会議] Focusシステム操作説明に係る保険者訪問 [浜田市]
5	島根県保険者協議会企画調査部会 [本会]  令和4年度事業および決算の状況等について説明。その後、今年度事業等について協議を行った。 診療報酬適正化連絡協議会 [本会]
6	国保連合会・中央会新任課長研修 [東京都] (~7日)
7	中国地方国民健康保険事務担当者研究協議会 [岡山県岡山市]  中国地方の国民健康保険事務担当者等による研究協議会を開催。「生活習慣病の発症予防・重症化予防の取組」をテーマとして、中国5県から1題ずつ事例・研究・意見発表を行った(本県からは大田市健康増進課の藤原久里子氏が「大田市における糖尿病性腎症重症化予防事業取り組み紹介」について発表)。 藤原久里子氏 中国地方国保連合会審査支払業務連絡会議 [Web会議]
10	国保連合会審査担当課(部)長会議 [テレビ会議] 第1回理事会 [Web会議] 共済事務担当者会議 [Web会議]
11	全国国保連合会総合調整会議 [テレビ会議] 特定保健指導技術研修会 [ホテル白鳥]  春日潤子氏 加藤知子氏 島根県保険者協議会の主催で、特定保健指導の技術向上を目的とした研修会を実施。厚生労働省保険局医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室の春日潤子保健事業推進専門官からの基調講演と、一般社団法人食サポートオフィスの加藤知子代表理事による実技演習等を行い理解を深めた。

日	行 事
13	地方単独公費の現物給付化に係る意見交換会 [Web会議] 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業およびFocusシステム操作説明に係る保険者訪問 [島根県]
14	共済事務担当者会議 [京都府] Focusシステム操作説明に係る保険者訪問 [出雲市、島根県医師国民健康保険組合]
18	Focusシステム操作説明に係る保険者訪問 [松江市]
19	島根県国民健康保険診療報酬審査委員会[本会](~25日) 島根県地域・職域連携健康づくり推進協議会 [県民会館] 島根県市町村国保広域化等連携会議部会(東部地区) [市町村振興センター] 松江地域保健医療対策会議 [Web会議] 第4回介護保険保険者事務処理システム運営委員会 [Web会議]
20	第2回保健事業支援・評価委員会 [本会]
21	島根県柔道整復療養費審査委員会 [本会] 介護給付費等審査委員会 [本会]
24	島根県保険者協議会 [本会]  令和4年度事業および決算について承認。その後、今年度事業等について協議を行った。
25	全国国民健康保険診療報酬審査委員会歯科部会長等連絡会議 [テレビ会議] 特別調整交付金(結核・精神)申請支援業務に係る説明会 [Web会議]
26	審査支払業務検討委員会 [テレビ会議] Focusシステム操作説明に係る保険者訪問 [島根県後期高齢者医療広域連合、飯南町]
27	国保料(税)収納アドバイザー相談事業 [大田市]
28	国保料(税)収納アドバイザー相談事業 [出雲市]
31	第1回通常総会 [本会] ※本誌「報告」(6~11ページ)参照 審査支払業務検討委員会ワーキンググループ [Web会議] (~8/2)

制度の普及・医療費の抑制・健康づくり等をサポートします

健診結果の通知用ツールとしてご利用ください

特定健診・注目すべき3つのポイント



あなたの健診結果は
いかがでしたか?
HE320790
A4判/表紙共6頁
巻き三つ折
カラー
定価70円

特定健診 あなたの結果は
いかがでしたか?



HE441170
A4判/表紙共4頁
カラー
定価45円

Support Your Healthcare and Lifestyle
健診結果の読み方・
生かし方



HE320780
監修/
順天堂大学客員教授
奈良良雄
BEATRIX POTTER™
© Frederick Warne & Co., 2022
A4判/表紙共8頁
カラー
定価80円

保険証カードケース

ジェネリック
希望カード付き
保険証ケース



TB013070
ジェネリック医薬品を
希望します。
※希望するジェネリック医薬品が
処方されていない場合は、
処方されていない医薬品がある
ことも確認して頂きます。
サイズ:60mm×98mm
素材:PP 0.2mm
定価40円

お問い合わせ・ご注文は電話またはFAXで



東京法規出版

〒532-0011 大阪市淀川区西中島7丁目4番21号 ホーククレセント第2ビル5F
電話 (06)6303-1021 (代表) FAX (06)6303-1009

フリーダイヤル 0120-102524 ●ホームページアドレス ● http://www.tkhs.co.jp/



JR木次線「奥出雲おろち号」の車窓から(奥出雲町)

中国地方初のトロッコ列車として1998年に運行を開始した「奥出雲おろち号」。運行距離60.8kmはトロッコ列車として当時の日本一でした。

車両のデザインはもとより、車窓からの景観も含めて、全国的にもファンが多く、長きにわたって親しまれてきましたが、2023年で運行を終了することとなっています。(ラストランは11月23日)

沿線ではラストイヤーを盛り上げるためのさまざまなイベントが計画されていますので、この機に奥出雲を訪れてみてください。

SHIMANE NO KOKUHO

しまね
の国保

9

2023.SEP
NO.576



発行人/星野充正
発行所/島根県国民健康保険団体連合会
〒690-0825 島根県松江市学園一丁目7番14号
TEL 0852-21-2136 FAX 0852-21-2164
<https://www.shimane-kokuho.or.jp/>

印刷・製本/株式会社谷口印刷
〒690-0133 島根県松江市東長江町902-59
TEL 0852-36-5888 FAX 0852-36-5889
<https://www.tprint.co.jp/>